



第 129 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和 5 年 5 月 10 日発行
発行責任者 山口 謙二
編集責任者 片平 るみ
E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 TEL 042-475-8532

東久留米稲門会第 29 回（令和 5 年度）定時総会報告

4 月 16 日（日）、成美教育文化会館において第 29 回（令和 5 年度）定時総会が行われ、山口謙二事務局次長が新会長に就任し、新役員体制が発足しました。

新会長挨拶

東久留米稲門会 会長 山口 謙二

4 月 16 日開催の第 29 回定時総会で第 8 代会長にご承認頂きました昭和 49 年政治経済学部卒業の山口謙二です。初代安宅会長から高橋前会長まで皆様人格、識見共に優れた方々ばかりで、その責務を引き継ぐにあたり改めて身の引き締まる思いがします。

今回の役員改選におきまして、6 年の長きにわたり会の発展に多大な貢献をされた高橋氏と会計監事の重責を担って頂いていた塚越氏が退任されます。お二方の長年のご功績に対し心より厚く御礼申し上げます。

新たな体制では従来から幹事を務められた有賀千歳氏に副会長を、平山努氏に会計監事をお引き受け頂く運びとなりました。そして、青木宣宜氏、松崎努氏ご両名に新たに幹事にご就任頂きます。他の幹事は引き続き会の運営にご尽力賜りたく宜しくお願い申し上げます。

私は高橋前会長から眼には見えない「襷」を受け取りました。その「襷」には当会の設立目的である「会員相互の親睦と啓発」と「早稲田大学と東久留米市の発展に寄与」という言葉が縫い込まれています。駅伝に例えれば第 8 区のランナーである私は、その「襷」を次のランナーへ繋ぐ使命を負いました。言うまでもなく、当会の活動は他と競い合うものではありませんし、距離の定められたものでもありませんが「襷」を繋ぐその時まで全力を尽くす所存です。

会員約 140 名、15 部会を有する当会は、来年設立 30 周年の節目を迎えますが、末永く発展できるよう役員一丸となって努めて参りますので、会員各位におかれましては今後とも何卒宜しくご指導、ご鞭撻賜りたくお願い申し上げます。



前会長挨拶

東久留米稲門会前会長 高橋 哲男

2023 年 4 月 16 日第 29 回定時総会での挨拶をそのまま記載させていただきます。

本日は、ご多忙の中、東久留米稲門会第 29 回定時総会にご出席いただきまして有難うございます。ご来賓の東久留米市長、早稲田大学及び東久留米三田会、近隣稲門会の皆様、ご臨席を賜りましてお礼申し上げます。

コロナ感染については、これまで早稲田大学校友会活動はかなり制限がありましたが、落ち着いた状況で収束したようですが、完全に終息は難しい状況と思いますので引き続きご留意をお願いします。



さて、東久留米稲門会の会員数については、昨年度減少に歯止めがかかりましたのは、定年制延長等社会構造の変化に会員募集の環境が迫りついてきたことと思いますので今後も会員募集の継続が必要と思います。また、部会長の皆様には入会会員定着のためご尽力をお願いします。本年度の行事も秋の懇親会、新年会は、通常通り開催できると思います。

東久留米市内の大学校友は約 1,100 名で、「東久留米市の発展に寄与する」基本方針のもとコロナ禍で中断していましたが、年 4 回の市民向け映画館鑑賞会を 3 月に再開いたしました。1 回につき 300 名の観客を目指しています。今回は 5 月 25 日にここのホールで「ひまわり」を上映予定です。また、当会会員の市議員が 3 名おりますので今回の市議選を無事に通過して欲しいと思っています。

「早稲田大学校友会の発展に寄与する」も基本方針であり稲門祭を中心とした各行事に協力しています。校友会へ提案するのは、3 年前、三多摩支部支部長時に三多摩西ブロックを中心に稲門会の会員少数による会の運営負担及び三多摩全体の役員の高齢化による硬直化等の問題の対応が必要と感じました。三多摩支部も検討していますが、校友会としてもご配慮をお願いしたい。その結果、寄付金の増加の可能性もあるかと思っています。

私事ではありますが、この 3 月で 3 期 6 年の任期を終了しましたが、これも役員、会員、皆様のご支援によるものでお礼申し上げます。但し、3 年間はコロナ対応に苦慮しました。大学・校友会からの通知の中で当会の親睦を図り、活性化していき、会を護ることを考え、結果として他の稲門会より各行事について積極的な対応となりました。その為、眠れないこともありましたが、良い知恵も浮かび貴重な体験となりました。さて、新体制のメンバーは優秀ですので皆様、ご期待すると共に一層のご支援のほど宜しくお願いします。

最後に、東久留米市、早稲田大学、三田会、各稲門会のご発展と皆様のご健勝を祈りまして挨拶とさせていただきます。

【東久留米稲門会新役員】

会長	山口 謙二	幹事	河村 洋子	幹事	青木 規宜
副会長	吉田 清郎		坂井 淑晃		船津 高志
	小野 泰右		中村 敏明		呉 淳久
	小山田 朋樹		別処 尚志		松崎 勉
	片平 るみ		前川 初子		梶井 琢太
	有賀 千歳		金子 孝司	会計監事	吉川 明美
事務局長	大矢 真弘		長束 輝夫		平山 努
会計	清水 正弘		山岡 恭子		

第 29 回定時総会 講演会報告

＜第一部＞文化講演会「縄文とくるめと日本列島～ユニークな日本列島人のへその緒～」

井口直司氏

＜第 1 部＞

東久留米稲門会第 29 回定時総会に先立ち、文化講演会が開催され、成美教育文化会館 1 階ギャラリーにて会員、来賓、一般参加の方々 約 70 名が参加されました。



講演のタイトルは「縄文とくるめと日本列島～ユニークな日本列島人のへその緒～」、講師は日本考古学協会員や千葉大学非常勤講師なども務め、現在、東久留米市郷土資料室主任学芸員の井口直司氏でした。

講演の内容は、昨年に引き続き「東久留米市」を学ぶことに留まらず、日本列島そのものの成り立ち、その自然の特異性、またそこに住む日本列島人が攻撃性を示す人間集団が形成されていない縄文人の話から始まり、関東平野の成り立ち、東久留米市の履歴等のご講演をいただきました。

大陸とは距離を置いた独自の長い歴史である縄文時代の後、大陸の影響により農耕、牧畜が始まりました。その弥生以降、際立った短い期間で成立した古代権力と国家、並びに長い鎖国から開国し欧米化と経済大国へと豹変した江戸からの明治、大正、昭和に至る時代を「世界史からの誘発」という視点で日本史を探ってみると共通

点を見出すことができる。

縄文以後も江戸以後も新たな国の成立に伴う歴史的な大変動を興しており、弥生は全国各地の縄文と融合した地域色ある弥生として縄文を残し、明治以降の洋風化は江戸期に確立していた全国各地の社会生活と文化をそのまま残している。縄文と江戸は歴史的な基盤となって根太く継続している。

さらに日本人の心の奥底にある神々は万物に宿る八百万の神であり、生活と文化は日本列島の風土に適応した暮らしから育まれたものである。ヒトを含むすべての命は連鎖した絆で結ばれて存在するという世界観と自然現象に対する恐れと敬いであり、それこそが日本列島人の精神的な苗床になっているという話には深く共感いたしました。

昨年も感じましたが、あらためてこの日本列島に生を受けた幸運に感謝すると共に日本の豊かな自然と人々の暮らしを次の世代にも伝えていかなければという思いが強く心に残りました。

大矢 真弘 記

第 29 回（2023 年度）定時総会報告

2023 年 4 月 16 日（日）午後 2 時より成美教育文化会館で文化講演会、定時総会及び懇親会が開催された。文化講演会には一般参加者を含め約 70 名の参加があり、定時総会・懇親会には東久留米市富田市長をはじめ大学代表者と近隣稲門会からの来賓 11 名と会員 50 名が参加した。

定時総会は、吉田副会長の司会で開会、高橋会長より、来賓の紹介の後、任期満了により今回の総会で会長を退任するとの挨拶があった。



引き続き、来賓を代表して東久留米市富田市長から、物故会員との思い出話の後、市では公共施設等の維持管理に多額の資金が必要であることが課題となっているため、現在鋭意検討を重ねているので、稲門会の皆様のご協力をいただき、より良い東久留米にしていきたいとの挨拶があった。

早稲田大学三多摩地区地域担当課長の服部貴澄環境保全センター事務長からは、総会への祝辞と早稲田大学の近況報告があり、今年度の稲門祭への協力と校友会費や募金活動への協力依頼があった。



続いて議事に入り、高橋会長を議長に選出し、以下の内容が可決承認された。

- ① 2022 年度事業報告
- ② 2022 年度収支決算報告
- ③ 2022 年度収支決算監査報告
- ④ 役員改選
- ⑤ 2023 年度事業計画
- ⑥ 2023 年度収支計画

大矢 真弘 記

<2023 年度定時総会出席者> (敬称略)

【来賓】東久留米市：富田竜馬（市長）、早稲田大学：服部貴澄（早稲田大学 東京三多摩地区コーディネーター）、東久留米三田会：佐藤柳次郎（特別顧問）、清瀬稲門会：内田貞司（会長）、神山和夫（副会長）、小平稲門会：大島二典（会長）、二又祐一（幹事長）、西東京稲門会：緒方章（会長）、宿利忠（副会長）、東村山稲門会：山本岩男（会長）、町田光高（副会長兼事務局長）

【東久留米稲門会】

青木規宜、安次嶺暁、有賀千歳、飯塚秀夫、井坂宏、伊豆原純、伊東毅、上原徹也、大矢真弘、小山田朋樹、片野尚樹、金子孝司、片平るみ、河村洋子、北岡毅、吉川明美、後藤秀作、小牧完次、坂井淑晃、酒井正敬、佐田悦子、神宮邦政、清水正弘、高田明子、高橋哲男、橘優治、茅野裕司、塚越崇、東海俊孝、長瀬邦子、中村敏明、長谷山勝美、比護喜一郎、平山努、平山正経、福田稔、船津高志、別処尚志、帆角信美、前川初子、松崎努、松崎博、三浦洋子、武藤豊、山岡恭子、山口謙二、横田治彦、吉田清郎、渡辺真司

2022 年度決算／2023 年度収支計画(概要)

〔収入の部〕		2022 年度			2023 年度		
項	目	2022 年度計画 ①	2022 年度決算 ②	予算-実績 (+は余剰) (-は不足)	2023 年度計画 ③	2022 年度対 計画増・減	2022 年度対 実績 (増・減)
年	会 費	420,000	402,000	-18,000	420,000	0	18,000
組	織強化補助金	252,000	252,000	0	251,000	-1,000	-1,000
雑	収 入	20,010	27,829	7,819	20,010	0	-7,819
そ	の 他 収 入	0	0	0	0	0	0
(収入計)		692,010	681,829	-10,181	691,010	-1,000	9,181
前	年 度 繰 越 金	1,001,775	1,001,775	0	1,016,520	14,745	14,745
(合 計)		1,693,785	1,683,604	-10,181	1,707,530	13,745	23,926

〔支出の部〕

(単位 円)

項	目	2022 年度計画 ①	2022 年度決算 ②	予算-実績 (+は超過) (-は余剰)	2023 年度計画 ③	2022 年度対 計画増・減	2022 年度対 実績増・減
総	会 費	60,000	55,620	-4,380	60,000	0	4,380
通	信 費	80,000	92,861	12,861	90,000	10,000	-2,861
ホ	ームページ関連	10,000	8,180	-1,820	10,000	0	1,820
印	刷 費	20,000	17,420	-2,580	20,000	0	2,580

消 耗 品 費	40,000	61,446	21,446	40,000	0	-21,446	事務用品、用紙、封筒
近 隣 稲 門 会 校 友 会交流費	70,000	27,000	-43,000	70,000	5,000	48,000	近隣稲門会、三多摩会費
交 通 費	50,000	15,300	-34,700	50,000	0	34,700	市外役務交通費
部 会 補 助 金	110,000	100,000	-10,000	120,000	10,000	20,000	12 部会(新;ポッチャ)
イベント補助金	100,000	102,258	2,258	130,000	30,000	27,742	懇親会会場費、映画鑑賞補助
寄 付 金	80,000	70,000	-10,000	80,000	0	10,000	補助金確保要件
会 議 費	12,000	7,619	-4,381	12,000	0	4,381	会議室賃料
雑 費	10,000	4,080	-5,920	10,000	0	5,920	送金費など
弔 慰 金	—	36,500	36,500	—	—	—	
予 備 費	100,000	68,800	-31,200	100,000	0	31,200	2023 年度 諸計画費用
(支出計)	742,000	667,084	-74,916	797,000	55,000	129,916	
次 年 度 繰 越 金	951,785	1,016,520	64,735	910,530	-41,255	-105,990	
(合 計)	1,693,785	1,683,604	-10,181	1,707,530	13,745	23,926	

		決算額	
現 金	[+]	0	
預 金	[+]	1,169,520	3 月 31 日現在
前受金	[-]	153,000	2023 年度会費
次年度繰越金		1,016,520	
30周年行事積立金	[-]	500,000	繰越金の 内 訳
次年度繰越金	=	516,520	

次年度繰越金の内、50万円を「30周年(2024 年開催)行事積立金とする。

(監査報告)

東久留米稲門会規約 第7条の規定に基づき、
2022 年度の決算書類について監査の結果
適正なることを認めます。

2023 年 4 月 1 日

東久留米稲門会 会計監事 吉 川 明 美 印
会計監事 塚 越 崇 印

< 第三部 > 懇親会



今回の懇親会
は、広いスペース
が確保できる 1 F
ギャラリーで行っ
た。はじめに、山
口新会長の挨拶が
あり、小平稲門会
の大島会長の祝

辞、東久留米三田会の特別顧問の佐藤氏の祝辞の後、5 代会長の平山氏の乾杯の発声で懇親会が始まっ

た。6つの大きなテーブルに椅子を持ち寄り、和やかな雰囲気の中で懇親が深められた。新型コロナの規制も緩くなり、近隣稲門会の方との親睦も図れた。楽しい時間はすぐに過ぎる。18時30分には第6代会長の安次嶺氏による閉会の挨拶、大矢事務局長の校歌斉唱で幕を閉じた。

◎2023年稲門祭のご案内、記念グッズ購入のお願い

今年の稲門祭は10月22日に開催されます。例年のように記念品を販売しておりますので、同封のパンフレットをご覧ください。ぜひご購入ください。各部会を通じてのお申込みも、個人でのお申込みも可能です。申し込みは下記2名が承っております。記念品の収益の半分は、学生への奨学金となります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

片平るみ nyago4i8@yahoo.co.jp 090-3682-6333
平山努 hirayama.krm@tbz.t-com.ne.jp 080-8493-1659

会の告知板

【部会予定】

5月08日(月) ウォーキング「西吾野から高山不動・関八州見晴台 山葡萄」
5月11日(木) 稲門会コンペ 玉村ゴルフ場
5月25日(木) 映画鑑賞会「ひまわり」14:00 成美教育文化会館
5月27日(土) 28日(日) 野球早慶戦
6月04日(日) 役員会 16:00 生涯学習センター
6月12日(月) ウォーキング「嵐山町千年の園・ラベンダー園 or 小岩菖蒲園」
6月13日(火) 三田会との懇親ゴルフ 熊谷ゴルフクラブ
7月10日(月) ウォーキング「行田市 古代蓮の里」

9月28日(木) 映画鑑賞会「ウエストサイド物語」14:00 成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧>

部 会	5 月				6 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	11	木		旧古河庭園散策	8	木	10:00	中央町地区センター
書 道	14	日	12:40-15:40	生涯学習センター	11	日	13:00~	八幡町地区センター
俳 句	21	日	10:00	生涯学習センター	20	火	10:00	生涯学習センター
囲 碁	28	日	13:00	成美教育文化会館	25	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	13	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	10	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	20	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	17	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	27	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	24	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
ソフトボール	15	月	11:00-13:00	南町運動広場	5	月	11:00-13:00	南町運動広場
	29	月	11:00-13:00	南町運動広場	19	月	11:00-13:00	南町運動広場
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター
ボッチャ	13	土	13:00-15:00	東久留米スポーツセンター	10	土	13:00-15:00	東久留米スポーツセンター
	20	土	16:30-18:50	東久留米スポーツセンター	26	土	13:40-15:50	東久留米スポーツセンター

★第1回くるめカップボッチャ大会 5月27日(土) 13:00-16:00 東久留米スポーツセンター

【大学・校友会関係】

4月	7日	(金)	稲門祭実行委員会	早稲田大学
5月	20日	(土)	東久留米三田会総会	成美教育文化会館
5月	21日	(日)	清瀬稲門会総会	清瀬アミューズホール
6月	25日	(日)	西東京稲門会総会	東伏見キャンパス
7月	8日	(土)	商議員会	早稲田大学
7月	9日	(日)	三多摩会長会	小金井商工会館
9月	3日	(日)	三多摩支部大会	早稲田実業学校
9月	28日	(木)	稲門祭実行委員会	早稲田大学
9月	30日	(土)	秋季代議員会	早稲田大学
10月	22日	(日)	稲門祭	早稲田大学
10月	29日	(土)	小平稲門会総会	ルネ小平
11月	19日	(土)	東村山稲門会総会	サンパルネ コンベンションホール

会の報告

◎幹事長・事務局長会議報告

3月4日(土)14時から早稲田大学大隈小講堂において大学校友会の幹事長事務局長会が開催された。萬代晃校友会代表幹事の挨拶の後、2023稲門祭実行委員長から今回の稲門祭は「心のふるさと早稲田」という標語を掲げ開催するが、67万人の校友の皆様のご協力をいただきたいとのお願いがあった。引き続き、事業・組織・財務・広報・学報委員会から2022年度と2023年度の報告並びに募金関係の報告とお願い等があった。

募金については早稲田大学応援基金と野球・駅伝・ラグビーへのスポーツ強化募金に加え、早稲田大学歴史館募金とリサイクル募金も開始したので、ご協力をお願いしたいとのことであった。

なお、東久留米稲門会への2023年度の組織強化補助費は、所定の条件を満たせば251,000円になる予定である。

事務局長 大矢 真弘 記

◎春季代議員会報告

去る3月4日(土)春季代議員会が開催されましたので、その概要を報告します。
2019年春以降4年ぶりに大隈講堂での開催とあってか、かなり多数の方々が出席していたように感じました。協議事項(活動報告及び決算、活動計画及び予算他)、報告事項は通常通りで特記すべき事柄はありませんでした。今回、正月の箱根駅伝に出場した現役学生2名が登壇し、奨学金への謝辞を述べました。熱のこもった胸打つスピーチに一同、奨学金がいかに学生たちに勇気と希望を与えているか実感しました。

山口 謙二 記

◎臨時役員会報告

2023年度臨時役員会が4月2日(日)16:00～生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

高橋会長から開会の挨拶の後、任期満了に伴う会長退任の挨拶があった。引き続き、2022年度で退任する会計監査の塚越氏よりの挨拶があり、以下のような議案の審議に入った。

1. 第29回定時総会について(成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)

(1) 定時総会・文化講演会について 4月16日(日)

講演会: 14時～15時30分 *PCとプロジェクター、スクリーン・・・成美教育会館

*東久留米市報(4/1版)への掲載依頼 済

(3) 定時総会 司会 吉田副会長 議長 高橋会長

議題 ①2022年度報告 大矢

-
- | | |
|--------------|----|
| ②2022 年度収支報告 | 清水 |
| ③2022 年度監査報告 | 塚越 |
| ④2023 年度事業計画 | 大矢 |
| ⑤2023 年度収支計画 | 清水 |
| ⑥役員改選 | 高橋 |
| ⑦その他 | |

＊議事終了後、新会長挨拶

＜総会終了後、贈呈式を行う予定だったが欠席のため役員が持参する。＞

＊マグカップ贈呈・・・1名（1964 昭 39 年卒） 池田信一氏

（4）懇親会 16:45～18:30 司会 大矢

＊料理とお酒の手配（大矢）

＊来賓祝辞：三田会・小平 （小平→東村山→清瀬→西東京→小平）

（5）総会資料印刷及び袋詰め作業等

①総会資料印刷及び袋詰め作業 4月8日（土）14:00～ 印刷は13:00～予約済

生涯学習センター 学習室3 <12:40～15:40 予約済>

70 部印刷予定、ホチキス等の準備

②役割分担

- ・会場準備 定時総会、懇親会両会場 責任者は小野副会長、大矢事務局長
- ・受付（定時総会・懇親会）金子、河村 （受付名簿―大矢）
- ・名札 小山田、大矢
- ・校旗 大矢
- ・看板（定時総会、講演会、懇親会） 大矢
- ・プロジェクターとスクリーンの手配
- ・プロジェクター事前確認
- ・ケータリング、酒等の手配 大矢
- ・講演者へのお礼 清水
- ・来賓手土産の手配（大学代表者と市長へ、3000 円程度の菓子） 山岡
- ・写真 有賀・小山田

③当日集合時間 12 時 30 分

＊懇親会の会場が3階大研修室では狭いのではという意見があり、2023 年度は講演会と総会を3階の大研修室で行い、懇親会を1階ギャラリーで行うことに変更した。

（6）事業計画、予算案等について

別紙の提案通り承認され、総会にて審議することになった。

（7）次年度総会日程について

2024 年 4 月 20 日（土）or 21 日（日）で成美教育会館へ確認することとした。

2. 幹事長・事務局長会議、代議員会の報告 <3/4（土）>

大矢事務局長から幹事長・事務局長会の報告、山口事務局次長から代議員会の報告があった。

3. 組織強化補助金について

本年度も申請をする。寄付する部は「競走部」の予定。次年度以降未定。

<ご参考>

野球部→スキー部→応援部 → ラグビー部 → 水泳部→バスケットボール部→アーチェリー部

→体操部（2019 年度） 2020 年度無し→ ソフトボール部→ ボクシング部

4. 広報関係

（1）東稲ニュース 編集案概要と原稿執筆依頼



担当の有賀氏より資料に基づき概要の説明があり、追加訂正の後、決定された。

5. その他

(1) 映画鑑賞会について

5/25 (木)「ひまわり」、次回は 9/28 (木)「ウエストサイド物語」

(2) 新部会申請について

「ボッチャ愛好会」世話人の渡辺氏より出された新部会申請が承認された。

(3) 新入会員等情報

事務局長より新入会員等の情報報告があった。

・次回役員会について 2023 年 6 月 4 日 (日) 16 時より、生涯学習センターの予定

部会だより 【活動報告】

<俳句部会>

第 271 回 3 月 16 日 (木)

兼題：鳥雲・春の餅一切 他当季雑詠二句

<高点句>

新調の制服眩し桜餅

片平るみ

縄文の遺跡広々鳥雲に

川島知子

<自選一句>

※おあげんしえと南部の婆のよもぎ餅 橘優治

鳥雲に入りて岬に日の陰る

杉本達夫

春眠やとぎれとぎれの夢つなぎ

大久保泰司

春の宵千の色出すヴァイオリン

三浦洋子

脱マスク校庭いっぱいの子供達

比護喜一郎

陽だまりに白スミレ咲く裏高尾

横田慧子

鳥曇りくの子で翔ぶは何の鳥

馬場清彦

鳥曇上の子残る次女嫁して

本間信一

第 272 回 4 月 23 日 (日)

兼題：うららか・入学 他当季雑詠二句

<高点句>

ありふれし日々に戻りぬ花終えて

馬場清彦

存分に道草食うて春うらら

片平るみ

ふるさとは盆地の底に春の月

杉本達夫

<自選一句>

半身はランドセルなり入学児

川島知子

うららかや何か忘れていているような

横田慧子

麗らかや一卓一花客を待つ

大久保泰司

麗らかや古文書開く老教師

比護喜一郎

はくしょんもあくしょんとなる杉花粉 橘優治

たんぽぽや頬ふくらませ絮ふく子

三浦洋子

入学児手を繋ぎ直し門くぐる

本間信一

※お召し上がりください の方言

片平るみ 記

<ボッチャ部会>

『 B O C C I A 』

ボッチャは 6 世紀のイタリアでその原型が生まれたもので、冬季オリンピックのカーリングに似て、床の上でボールを転がしたり、投げたりして得点を競うスポーツです。現在パラリンピックの正式種目です。

3 月 11 日 (土)、東久留米市生涯学習課主催のボッチャ大会がスポーツセンターで開かれました。我が稲門会からも 2 チーム参加致しました。予選リーグは 1 位通過し決勝リーグに進出。決勝リーグ初戦は「ぶんじケツパレーズ」という国分寺市のチームと対戦。(このチームが優勝) 最高級のボールを所持し、練習も豊富と聞いていた相手になすすべもなく敗退、続く「R T N」という家族チームとの戦いは試合前の練習を見てこれは勝てるという根拠のない自信をもって挑んだもののお嬢ちゃん(小

学校4年生) のすご技に無念の敗退。3位という結果に終わりました。最近結成の別チームは大いに検討し、予選3位チームのリーグで最上位の成績を収めました。ゲーム後、RTNチームのお父さんは平成5年早大理工学部卒業と知り、入会を強力に進めているところです。最近では、テレビでもボッチャの紹介番組もくまれ、大学の運動部、企業の部活動など一般のチームもかなり取り組んできているようです。

東久留米稲門会にもボッチャ部が誕生しようとしています。

頭と体を使い、室内で行える危険の少ない、老若男女すべて楽しめるスポーツです。

一度 “お試しあれ”

毎月第二土曜日の午後1時より東久留米スポーツセンターにて、市のニュースポーツデイに合流して練習しています。

渡辺 真司 記

＜ソフトボール部会＞

中学一年生の時に 野球部に入りました。結果苦勞して一年で退部した経験がありました。単純に ソフトボールはできるかも と思っていたようです。ソフトボールってその都度プレイに評価がはっきり出るスポーツなのですね。ボールが飛んでくる、追いつかない、弾かれる、トンネルする、捕まえて投げるも、意図しない方向へボールが行ってしまう、打つほうでも何度空振りをしたことか。

今後の方針は、一步で届く範囲のみボールを追う、それ以外は打者をほめる、打つ場合は自分の好きなコースに来たボールだけを打つ、これでは良い練習にはなりませんね。

本当のことを言うと 余程ソフトボールの方が難しい。ボールは大きい 重たい 弾まない 飛ばない これは全て狭い日本用に仕組まれているのだが地面に落ちるとどっちに弾むか判らない、グラウンドのアンジュレーションが守備をより難しくしているのです。

軟式野球は自分に才能が無いと判って辞めましたが、ソフトは辞めません。暫くはボールと遊びながら仲間と一緒に楽しんで行こうと思っています。

中村 敏明 記



＜書道部会＞

書道部会長の平山十方先生が理事として所属する書道会の謙慎展が上野の東京都美術館にて開催され、3月17日に平山先生、書道部のメンバーと共に鑑賞に行ってきました。書道では書いて練習することも大切な学びですが、より多くの書作品を見ることも重要な勉強でもあります。

数あまたの応募作から選ばれた作品が並ぶ会場では素晴らしい書に圧倒され、自分の未熟さと共に練習不足を思い知らされる時間でした。

(因みに、平山先生が他所で指導している書道勉強会のお弟子さん2名が入選され展示されていました。)

未だに楷書が上手く書けず先生に手直しばかりされている未熟者ではありますが、最近では書き初めると暫し時間を忘れて没頭できている自分を発見し驚いています。

小学生以来筆を握った事の無い私が、栄田征子さんから誘われ「何時止めても良い」との言葉で、六十を過ぎて初めた老いの手習いの書に、歳と共に衰え初めた集中力を引き出させて貰えるとは。

書道の力恐るべし。正に生涯学べる書の道です。
小野 泰右 記

<太極拳部会>

「桜を愛でる会」を控えめに開催しました！

太極拳部会では年二回、秋の「周年記念懇親会」と、春の「花見の会」を催すのを恒例としてきました。ここ3年間はコロナ禍によりすべて中止してきましたが、どうやらコロナも沈静化してきたようなので、渡辺部会長の決断のもと、感染予防にも配慮しつつ3月25日(土)に、控えめに現部会メンバーだけの16名で、今年の「桜を愛でる会」を開催いたしました。

会場はいつも稽古をしている成美教育文化会館の、併設幼稚園園庭に面した「プレイルーム」。天気はあまり良くは無かったけれど、園庭を取り囲むように桜の並木があり、満開をわずかに過ぎて、時折風に花びらが舞う絶好のタイミングでのお花見会となりました。

鮎貝さんご夫妻、松崎さんご夫妻、そして帆角元会長ご夫妻と、大先輩方がいつもの稽古同様ご夫妻で仲睦まじく元気に参加され、また高橋哲男さん、山口謙二さんの新旧東久留米稲門会会長も当部会のメンバーで、当日も揃ってお酒・ワインの差し入れを携えて参加いただけたのは何よりでした。

以前は稲荷山公園まで遠征して、野外稽古をした後、他の花見客と同様に車座になって「宴」を繰り



広げました。しかし雨で開催できないなどの事態もあり、また高齢化も進み5年ほど前からは、室内から桜を愛でる今のかたちに落ち着きました。

今回はコロナ感染予防に配慮して、テーブル毎に大皿の寿司をシェアするかたちを止めて、一人前寿司を各人に配布し、お酒もつまみも控えめに用意したのですが、予想外にたくさんのお酒やおつまみ、料理等の差し入れが集まり、結局“花より団子”のいつもの大宴会となりました。 小山田 朋樹 記

<ウォーキング部会>

(第88回 R5.2.27) ウォーキング：青梅・吉野梅郷、その近辺のウォーキング

「東風(こち)吹かば にほひをこせよ梅の花 主(あるじ)なしとて春な忘れそ(菅原道真)」
冬の終わりが近づいて来ることを感じさせる風物の代表が梅の開花、と思う日本人の一人として、早春の探索に出てみよう。関東には、水戸の偕楽園を始め素晴らしい梅林が数多くあるが、青梅・吉野梅郷も偕楽園に劣らずかつては多くの梅見客を集めた存在であった。

しかしながら、梅ウィルスの為、2014年に全数伐採という惨事（我が国で初めて）に見舞われた。2016年から再植栽が開始され、着実に以前の咲き誇る姿の回復に向け歩んでいるとのことで、昨今では青梅市が梅まつりを宣伝するに至っている。そこで、かつての隆盛時に思いを馳せながら、再生へ進む努力の成果の一端に浸ってみようと企画してみた。

東久留米駅から新秋津、立川、青梅を経て1時間半、奥多摩線の日向和田駅に降り立ったのは、総勢16名（男12、女4）。「梅の公園」まで約20分を天気恵まれて歩き始め、途中、駅近くの「へそまんじゅう総本舗」で、かなり知られたお土産を購入、おまけでついてきた饅頭はかなりいけた。多摩川にかかる神代橋から、遙か下に深い谷底を覗き観た景観が、絶景として印象に残っている。

梅の公園は小さな山を巡る散歩コースが設けられ、山全体に様々な梅の木が植えられていた。再植栽から5～6年では人の背丈を少し上回る程度の高さで、枝張もそこそこに留まり、梅林というには未だ程遠いが、華麗な花はささやかな薫香を漂わせ、背丈が小さな点が可憐な感じを催す。そうした花達に囲まれたベンチに陣取って昼食の宴を開いた。

梅は奈良時代以前に中国から輸入され、当時その開花は最先端の文化の色合いを濃く持っていたようである。後の世の花見等の習慣がなかった時代、「令和」の出典となった「梅花の宴（天平2年、730年）」を主宰した大宰府長官の同伴旅人は、「我が園に 梅の花散る ひさかたの天（あめ）より雪の流れ来るかも」と詠っているが、当時の我が園の梅も未だ梅林までに育っておらず、再生途上の今の青梅と同じような状況ではなかったかと、かつてに想像していた。白い一重の梅花しかなかったという万葉の時代と異なり、色とりどりに咲く青梅での梅花の宴を時間をかけて満喫した後、同じく全伐採に遭った近辺の梅が関わる庭や古跡を訪ね、加えて、歴史と伝承がある近隣各所を巡るウォーキングを続けた。

公園の近くの天澤院から始め、樹齢400年の銘木があったという「鎌倉の梅跡」、梅と蠟梅の公園「中道梅園」を訪ねた後、下山八幡神社、岩割りの梅跡、大聖院、即清寺、愛宕神社と、4kmを訪ね歩いて旧跡を巡り、帰路につく二俣尾駅に到着。月曜日ということで、途中の吉川英治記念館が閉館していたのは残念であった。

打ち上げは、いつもと趣向を変えて、秋津駅の近辺で行った。 部会長 東海 俊孝 記

（第89回 R5. 3. 27）ウォーキング：大宮氷川神社・大宮公園で桜の宴会

例年になく暖かい日が続き、3月22日に満開と報じられ、実施日27日にはかなり散ってしまうであろうと危惧すると同時に、開花以降の雨続きで、当日の空模様にもやきもきする毎日でしたが、参加各位14名（男9、女5）の良い心掛けのお蔭をもちまして、満開の桜の下で、コロナを隔てて数年振りの花見を満喫出来た次第です。

「たれこめて春の行方も知らぬ間に待ちし桜もうつろひにけり 藤原因香（よるか）」『古今和歌集』の二の舞だけは避けることが出来、万々歳。

大宮駅は、埼玉県交通、商業の中心都市として発展した旧大宮市の中心として人口50万人超に見合った大きな駅で、新宿か池袋かと錯覚する規模である。（県政、文化の中心となったのは旧浦和市）。駅東口を出て繁華街を1km程歩くと、武蔵一宮氷川神社参道に突き当たり、参道を半km程歩くと、広い境内を持つ神社に至る。

武蔵一宮氷川神社は、2,000年以上の歴史をもつといわれ、大いなる宮居として大宮の地名の由来にもなった日本でも屈指の古社であり、武蔵一宮として関東一円の信仰を集めている。御祭神、須佐之男命（すさのおのみこと）稲田姫命（いなだひめのみこと）大己貴命（おおなむちのみこと）からは、古代出雲との関係が窺われる。氷川神社名の社は、大宮を中心に、埼玉県下及び東京都下、神奈川県下に



及びその数は280数社をかぞえるという。

参拝を済ませて、社の裏手に続く大宮公園へ進むと、関東でも有数の桜の園が繚乱となっていた。平日とあって、花見時期相応の人はあるが適度な人出であり、花見の宴をする場所もゆったりととれ、満開の花の下で、車座になっての持参の酒と御馳走により、楽しいひと時を過ごすことが出来た。

「桜の日 恋知りそめしきのふより この世かすみぬうすむらさきに：若山牧水」

我々にも満開の桜の下で、薄紫に霞がかかったようにも思えることがあったが、こんなロマンチックな思いには至らず、早大大先輩牧水に、一種の妬ましさも感じたものである。

現在に住む我々は、江戸期に誕生したソメイヨシノの華やかさに魅了されて花見をするが、歌人水原紫苑（早大仏文卒）によれば、桜の文化は染井吉野以前の山桜に関わり、古今集（905年）によって創造されたという。御所の左近の梅右近の橘が、平安になって左近の桜に変わったのも、桜の文化によるものという。花が山桜から染井吉野になっても、「世中（よのなか）に たえてさくらのなかりせば 春の心はのどけからまし 在原業平」

古今集を代表する業平の歌は、今日桜の下で宴を開いた我々にそのまま響いてくる。

古今集の平安時代から、連綿として桜を美しいと感じ、四季の生活にそれを取り込んで、今年も桜の宴をすることが出来たのだ！

宴を終えて、桜の園に続く、大宮第2公園、第3公園への足を伸ばし、ウォーキングの方も実を上げた。打ち上げは、大宮の繁華街に良い店を見つけて、これまた心行くまで行った。

部会長 東海 俊孝 記

部会だより 【今後の予定】

<スポーツ観戦部会>：野球早慶戦

5月27,28日野球早慶戦です。2020年春以降、コロナ禍の影響で六大学野球も様々な入場制限があり、部会としての観戦を見送り続けました。制限緩和の状況になりましたので、今回28日（日）の第2戦観戦を企画します。内野自由席観戦の予定ですが、内野チケット全て前売り制ですので入手できない場合があるかもしれません。その場合はご容赦下さい。詳細は同封チラシをご覧ください。

連絡先：042-425-2915 又は 090-6544-0569 ✉jiu23466@nifty.com

山口 謙二 記

<ウォーキング部会>

以下、実施詳細未定

6月12日（月）嵐山町 千年の園・ラベンダー園（or 小岩菖蒲園）

7月10日（月）行田市 古代蓮の里

★実施詳細はメールでお知らせします。参加実績のない方はメールアドレスの登録がありませんので、参加ご希望の方は以下宛に、eメールのメールアドレスをご連絡下さい。（FAX番号 or SMS電話番号も対応可）

宛先：toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp 携帯 080-1205-9494 Fax:042-473-8566

部会長 東海 俊孝 記

東稲広報室

◎計報

村野 建彦 会員 s42 政経卒

島田 好多 会員 s30 商卒

川村 晃司 会員 s48 文卒

謹んでお悔やみ申し上げます。

◎新入会員 (4/16 時点)

高田 明子 氷川台 2 丁目 1976 年専攻英語英文科修了

渡辺 徹 南沢 4 丁目 1980 年法卒

飯塚 秀夫 小山 4 丁目 1970 年政経卒

吉中 進 上の原 1 丁目 1993 年理工卒

北岡 毅 学園町 1 丁目 1982 年商卒



◎書道展 福田 稔

第 23 回 NP0 法人 国際書画交流会 展覧会に思う

私は 台湾の画家 黄瑄予です。

1 東京都美術館で展覧会開催

(会期 2023 年 3 月 24 日～3 月 31 日に開催された)

世界でコロナウイルス感染症大流行で、展覧会は 3 年間も開催されませんでした。私は興奮した気持ちで出展、参加しました。8 カ国の分会長、参加者も皆 4 年振りの再開に両手を広げて喜び合いました。明るい笑顔と楽しい気持ちで期待しているのがよく分かりました。参加しているアーティストは、それぞれの国で高い芸術性を認められた方々ばかりです。展示された作品はそれぞれが物語り、感動を与えるものでした。122 人のアーティストは優れた芸術性と技法が認められ、金銀銅の賞状付与の荣誉に浴されました。

2 パーティーの催し

①出展仲間のサクソフーンとギターの心地良い演奏の中、美味しい料理とお酒を汲みかわしながら国や言葉の壁を越えて互いに楽しく談笑し交流を深めていきました。

②羽織袴姿の福田会長から、努力の賜物として頂いた賞状を手写真に撮ったり、とても和気藹々とした雰囲気になっていました。

③これからも多くのアーティストが毎年一同に会するパーティーを心から楽しみにしています。

3 私はこの展覧会で多くの事に気付かされ、また感動を得ました。

①特に、福田会長の周到な事前準備とコミュニケーション作りには敬服させられました。

②会長は各国の全ての人を、まるで家族のように大切に、敬意を払いながら接し、緻密に連絡を取り合い、互いの心を結びつけながら準備を進めて来られた。

③会長はどんな時も全ての国々全ての人々を大切にしている事がよく分かり大変感動しました

④アーティストが、多くの時間とお金を費やし、すべての困難を乗り越えて、一生懸命アートの世界で努力している事を、実感しました。

⑤福田会長はそんなアーティストに光が当たるよう、アート ステージを作って機会を与えて下さった。決して簡単な事ではなく苦勞もありながら、このイベントで誰もが芸術的な楽しい思い出を得ることが出来るよう努力して下さいに深く感動しました

4 私の支援

①私は海外の美術展への参加、美術教育の仕事、日本留学中(日本語翻訳・会話を学ぶ)、国際貿易会社の仕事、更に様々な団体と関わっています。その経験を生かし、福田会長に、より適切な支援を

することが、私にとって最高の学習の機会であることをはっきりと、知ることが出来ました。

②東京都美術館で開催される NP0 法人国際書画交流会 展に参加し、通訳・会話等のお手伝いが出来る事を大変光栄に思います。

③芸術(書画)は視覚的であるだけでなく心を通わせ、多くの国々と人々を結ぶ事が、出来る誠実で最高の友好活動と言えます。更に多くの国々を結ぶ事が出来るように努力していきます。

④すべての作家が金銀銅の賞状と名誉を頂き、帰国して PR し、多くの会員増を得て芸術を発展させることが出来ます。最後に福田会長の多大な尽力により、大変立派な図録本を日本で初製本し、上梓・出版された事を感謝します。

お知らせ (稲門会会員 福田 稔)

今回の展覧会でも、NP0 法人国際書画交流会の理念を満した会となりました。2 年先の【第 26 回東京都美術館での展覧会】は、中国(中国政府の美術館管理者の趙杭衛博士鄭蘭美女流画家)の参加を得て、更に大規模(約 350 点)な展覧会開催となります。

◎清瀬稲門会「オペラ鑑賞会」のご案内>

清瀬稲門会は、二ヶ月ごとに清瀬駅北口側の「アミュールホール」でオペラ鑑賞会を実施しています。レーザーディスクとDVDで様々な作品を上映していて、既に過去 266 回開催されました。次回は 6 月 18 日(日) 午後 1 時開演で「ピーター・グライムス」(ブリテン) NYメトロポリタン歌劇場 2020 年版が上映される予定です。

会場費・資料費で 200 円のカンパが必要です。会場は北口ロータリーに面していて駅から徒歩 1 分程度です。オペラ好きの方は、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。一度参加し、住所を書いておくと次回以降の案内のハガキが届きます。東久留米稲門会の映画鑑賞会に似た形です。

山口 謙二 記

<総会懇親会 特別会計収支報告>

4 月 16 日(日)開催の「総会懇親会」の収支は以下の通りでしたのでご報告します。

〔収入〕 懇親会費(42 名; 寄付含) …131,000 円

〔支出〕 飲食費…155,800 円 会場費(什器・備品代含む) …25,725 円

〔収支〕 50,525 円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。

会計係 清水 正弘 記

◎滝山ふれあい子ども食堂に 20,000 円を東久留米稲門会の名で送金いたしました。これからも皆様のご協力をお願いします。

河村 洋子 記

<村野さんを偲んで>

また会う日まで

河村 洋子

村野建彦様、「神とともにいまして」の聖歌であなたをお送りしてから一か月が過ぎました。帰天された三月八日、「東稲ニュース」三月号を配りながら、ふとあなたの事が頭を過りました。いつもはあなたの事を思いながらポスティングをしないのに。神様が私に考えさせて下さったのでしょうか。

二〇二〇年三月、コロナが流行し始めた頃、お宅にお見舞いに伺いましたよね。その時に「何を食べてもおいしくない」とおっしゃいました。かわいそうでかわいそうで、私の食欲の半分を分けてあげることができたかと思ってしまう程でした。その後、あなたがおいしく食べられる物はないかと必死で考



えましたが、思いつきませんでした。その時から三年、ステージ4の病状のあなたはよく頑張られましたね。少し早過ぎはしましたが・・・

告別ミサは村野さんが尊敬する深水神父様が司教されましたよ。八十五歳の神父様はお元気でしたよ。カトリックのご葬儀は私には初めてでした。参考になったというのは変ですが、私の時もこの様になるのだということがわかり安心いたしました。

カトリック信者としてはあなたの方が大先輩。お子様の教育のためにカトリックに入ったと聞いた時は驚きましたよ。そんな理由で受洗した人は知りませんでしたから。お墓も私と同じ府中のカトリック共同墓地ということで、ますます親しみを感しました。

稲門会では、副会長、グルメ部会長として貢献されましたね。グルメのお世話は、深川のあさり飯が最後でした。あの時のお料理の美味しさは今でも忘れません。役員会の後の二次会ではよくワインを飲みましたね。

私が一時、清瀬教会のミサに与っていた時、帰りに奥様の運転で送って下さったことも忘れられません。

村野さん、もう府中の墓地にお眠りでしょうか？ 十一月二日の死者の日にはお墓参りいたします。役員の中には私を含めて三人のカトリック信者が残っています。いずれ、天国で稲門会を作りましょう。そう遠くない日に私もそちらに参ります。もう少し待っていて下さいね。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

また会う日まで

村野建彦さんを偲んで

高橋 哲男

2023年3月9日村野建彦氏のご家族様から3月8日にご逝去された連絡をいただき、3年9ヶ月にわたる闘病生活から解放されたことと思いましたが、それまではお元気になることを祈願していました。

村野さんは、東久留米稲門会設立時の会員でしたが、東京東久留米市ロータリークラブの要職や東久留米経友会会長を担当していた頃の選挙で名前を無断使用されたため、退会されました。この頃の稲門会は、政治団体と疑われかなりの会員が退会しています。

私が稲門会に入会したのは創立5年目で村野さんが退会されたことを知り、村野さんは私より遙かに地元に精通しており、稲門会においても貴重な存在になると思い、なんとか再入会していただくことを考えていました。

2003年7月、高橋二代会長より郷土研究会部長を指名されていて、「市内巡り」の企画の中で、村野家住宅（顧想園）の見学を予定していたので小平駅前の会社を訪ねました。

その時に村野さんは、地元有数の資産家の子弟ですが、親切で心の優しい人と思いました。見学について快諾していただくとともに現在の稲門会は、政治活動や営業活動は禁止事項と説明して理解していただき翌年2004年4月に再入会していただいたと記憶しています。

2007年4月市川4代会長時から2017年3月まで役員に就任しましたが、この時期は公私多忙で中々稲門会活動に専念できませんでした。

村野さんは、2017年4月私が会長時に副会長を依頼しまして、これまでの社会的豊富な経験により稲門会を支えていただきました。

また、グルメ部会会長をお願いして2018年3月「川越・うなぎ・ぼんぼこ亭」、2019年3月「門前茶屋深川めし」は、企画も素晴らしく、楽しい思い出となりました。現部会長も経験豊富でグルメを熟知していますが、村野さんは、享年78歳、しばらくはグルメのご案内をいただきたかった。また、村野さんの葬儀に多数のゴルフ部会会員が参列したことも村野さんのお人柄によることと思います。

たいへんお世話になりました。心より、ご冥福をお祈りいたします。

再会

S43 教育 川島 知子

今から五十年以上も前、早稲田大学にB E A（商業英語研究会）というクラブがあった。当時は部員 400 名。同期の部員 200 名もいる大所帯であった。国語国文科に入学した私が 畑ちがいのクラブに入ったのは英語を話せるようになりたいという一心からだった。

B E A の組織は上級生が下級生を教えるシステムになっていた。大学の授業の合間に私は学生会館の 2 階で英会話のレッスンを受けた。また金曜日の夜は立川の基地に住むアメリカ軍人、ミラーさんの家に英会話の勉強に通った。ミラーさんの奥様はいつも美味しいケーキを焼いて学生達を待っていてくださった。

さて、その家にフィリップという名の男の子（当時 8 歳）とバーバラ（5 歳）という名の女の子がいた。私の頭の上を難しい会話が飛び交っているとき、私はその 2 人の子ともよく遊んだ。子どもの話す英語はやさしくて私には心地よかったのだ。

夏休みには猪苗代でクラブの合宿があった。ミラーさん一家も参加した。キャンプファイヤーで私はフィリップと手をつなぎ、満天の星空を眺めたことを覚えている。一緒に山登りをしたときビーケアフルプリーズとしょっちゅう声をかけてくれた。フィリップはレディファーストをしっかりと身につけたリトルジェントルマンだったのだ。

ミラーさん一家は 4 年の任期が終わるとアメリカに帰って行かれた。今思うと、大変お世話になったのだけれど、若気の至りで何の連絡もすることもなく、長い年月が過ぎていった。

55 年後の、去年から今年にかけての話である。

65 歳になったフィリップから音信があった。お父さんが亡くなりお母さんも亡くなり、妹のバーバラもがんで亡くしていた。亡きお母さんの手帳に当時の B E A の仲間の一人、哲ちゃんの電話番号を見つけ、フィリップが電話をかけてきたのだ。メールのやりとりが始まり、当時のメンバーと会いたいと昔の写真をたくさん添付して送ってくれた。

残念なことに写真に写っている当時のメンバーの半数以上はすでに亡くなっていた。50 代で亡くなった人、60 代で亡くなった人 70 代で亡くなった人。英語が達者で海外で仕事して、どういうわけか早く亡くなってしまった仲間達。悲しい現実だった。

8 歳のフィリップの記憶に残っていて会いたい“おとなしくて、やさしくて、自分をかわいがってくれた女の子。”

私はフィリップにメールした。「あの頃のおとなしい女の子は英語があまり話せなくてそれでおとなしかっただけで、今ではひばりのようによくしゃべるけれど、それでも会いたいか」と。

再会が実現したのは桜の花の咲き出した 3 月半ば過ぎだった。コロナ禍で個人の旅行が許可されない状況にしびれを切らして、フィリップはツアーを申し込み、奥様と一緒にやって来た。



58 年前の筆者



58 年前のフィリップ君



現在のフィリップ夫妻

一日だけ自由な時間のある日、私は三年先輩の哲ちゃんと台場のホテルに泊まっているフィリップ夫妻を迎えに行った。彼が子供の頃住んでいた立川を案内するために。実はその1週間ほど前。中神の辺りに、彼が住んでいた住宅が残っていないか下見に行っていた。アメリカ村というのが残っていて平屋の住宅が何軒かあった。てっきりそこだと思いこんで案内したところ違うとのこと。近辺をタクシーで回るうちに彼がここだと言った所は小さな路地と塀と空き地があるだけ。昔の家は跡形もなかった。彼はそれでも昔、自分が住んでいたところを特定出来、満足気だった。

立川駅周辺も彼の記憶とは大違い。モノレールが空を走り、デパートが並ぶ大都会だった。基地の跡地に整備された昭和記念公園での散策。咲き始めた桜を追ってどこまでも歩いた。小高い丘を登ってフィリップが探したのは子供の頃の見覚えのある木々だった。色をつけたたまごが木の下に隠されていてそれを探して遊んだという。55年たつてすっかり大木になった木々との対面。懐かしそうな彼の顔。夕食は高島屋でへぎそばと天ぷらと茶碗蒸しなど食べて彼らを台場のホテルまで送って家に帰ったのは深夜。春の長い一日だった。

さてその後、彼らが箱根、京都、奈良、大阪を巡り、新幹線にも乗って、いよいよ帰る日、哲ちゃんと私は羽田に見送りに行った。京都で買ったという着物を二人とも羽織って見せてくれ、楽しかった旅行の話をしてくれた。アメリカには新幹線はない。日本のほうがよほど進んでいると。広島には行かなかったけれど広島のことには日本に申し訳ないことをした。ごめんなさいと二人で、深々と頭を下げた。彼は 日本が素晴らしい国だと確認してアメリカに帰って行った。哲ちゃんと私は優しかったミラーさんご夫妻を思い出少し恩返しできたかなと思ったのだった。

編集後記

恋愛でよく使われる「ふる」「ふられる」は、着物の袖に由来する言葉だそう。7世紀の宮廷歌人の一人である額田王（ぬかだのおおきみ）は次のうたを詠んでいる。「あかねさす紫野行き標野（しめの）行き 野守は見ずや君が袖振る」そのころの乙女は袖を振ることで独身をアピールし、男性からの求愛に受け答えしたという。女性の着物姿は特別の行事の時しか見られなくなったが、日本文化はこのような基盤が受け継がれていることを忘れてはいけない。久しぶりに街歩く着物姿の女性を見て飛鳥時代をみた。（有賀）



編集委員：有賀千歳（今回の担当）・片平るみ



東久留米稲門会HPへのアクセスは、
左記QRコードからできます。